



第42回JA鹿児島県農協青壮年組織協議会通常総会および リーダー養成研修会に参加



5月1日（水）に、鹿児島市のJA会館大ホールにて第42回JA鹿児島県農協青壮年組織協議会通常総会が開催され、種子屋久農協青壮年西之表支部およびくまげ地区支部より盟友と事務局の計5名が参加しました。

総会においては、森山裕衆議院議員をはじめとした来賓の皆さまも臨席する中で、令和5年度の活動報告や令和6年度の計画の承認と併せて、「ポリシーブックを活用して現場の声を国政へ届けよう！」「仲間づくり運動の取り組みを通して、盟友の輪を広げよう！」「地域への貢献活動を通して、ファンづくりと国産国消の周知を進めよう！」という3つのスローガンが採択されました。

総会終了後に開催されたリーダー養成研修においては、野村哲郎前農水大臣より農業産出額18位だった鹿児島県の農業が、米と甘藷とさとうきび主体から日本人の食の変化への対応により北海道に次ぐ第2位の産地へ成長した過程や、食料基本法の改正、食糧供給困難時対策法案の策定といった食料安全保障への取り組みなどについての講話がありました。またJA全農によるスマート農業への取り組みにより労働力不足や作業効率化への対応事例の紹介もあり、参加者は熱心に聞き入っていました。

JA青壮年部では、行政やJA役職員との意見交換を目的とした「語る会」の開催や、県青年大会への参画、各種イベントでの出店、九州・沖縄地区青年大会への参加など、様々な活動を予定しています。

